

上八万中学校 「学力向上実行プラン」

研究テーマ

- ①「わかる授業、生徒が主体的に取り組む授業の創造」
- ②「学校と家庭の連携による家庭学習の充実」

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 岩根 初絵	委員	校長 教務主任	長頭 大井 大草	前林 嶋田 育代 康夫	良典 聡 康夫	第1学年主任 第2学年主任 第3学年主任 国語科主任 数学科主任	青木 山下 鈴江 山下 谷	友 芳伸 仁 芳伸 真紀子
	校長 前林 良典 印							

(1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ 国語科の漢字の読み書きや、数学科の式の計算など基礎的・基本的な知識・技能は身につけている。	基礎的・基本的な知識・技能を十分に身につけている。	①「授業の内容は理解できる」と答える生徒が80%以上 ②ノートや宿題の提出率が90%以上			
課題 基礎的・基本的な知識・技能の習得が十分でない生徒がいる。	①わかりやすい授業の実践 ②補充的・個別的指導の実践	①-1授業の初めに前時の復習を行う。 ①-2教員相互の授業参観を学期に1回ずつ行う。 ③月に1回以上の補充的・個別的指導を実施		評価	次年度における改善事項

(2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ 発展的課題について、知識・技能を活用しようと努力する生徒が多い。	目的に応じて、根拠や理由を明らかにしながら、自分の考えを豊かに表現することができる。	「自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは難しい」と答える生徒の割合を40%以下にする。			
課題 自分の考えを言葉で論理的に表現することに課題がある。	①学習活動の中で自分の考えを筋道立てて文章に書く・表現する機会を意図的に設ける。 ②学級活動の中で、時事問題などについての意見を文章に書く機会を設ける。	①自分の考えを筋道立てて発表する機会を学期に1回以上実施する。 ②テーマを設定した短文の提出を月に1回以上実施する。		評価	次年度における改善事項

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ 朝の学習や授業にまじめに取り組むことができる。	①起床・就寝の時刻を設定し、生活リズムを整えることができる。 ②復習を中心とした家庭学習に主体的に取り組むことができる。	①「起床・就寝の時刻を設定し実行できる」と答える生徒が70%以上 ②「家庭学習にまじめに取り組んでいる」と答える生徒が70%以上			
課題 家庭における復習の習慣が十分に身につけていない。決まった時刻に就寝するなど規則正しい生活習慣が十分に身につけていない。	①生徒には、生活記録や日頃の声かけを通して、家庭にはPTCや学年だよりを通して生活リズムの徹底を図る。 ②「学習の手引き」を参考に家庭学習の方法を共に考え、自主学習ノートを利用して見直しを図る。	①生活記録の確認や、学年だより等を通して規則正しい生活の定着を呼びかける。生活アンケートを学期に1回実施 ②自主学習ノートの提出率が90%以上		評価	次年度における改善事項

平成31年度 学力向上ロードマップ

